ふるさと経済

ディスプレー業 仕事の魅力語る

セミナーに120人

店舗やイベントのブースなど、さまざまな空間をデザインするディスプレー業の認知向上と魅力発信を目指したセミナーが6月27日、大分市のJCOMホルトホール大分であった。展示や広告関連の企業などでつくる「日本ディスプレイ業団体連合会」（東京都）が県内では初めて開いた。



ディスプレー業の魅力を語るデザイナーら

業界で働く若手や関心がある学生ら約120人が参加。第一線で活躍する県内外のデザイナーら10人が仕事の魅力などを語った。デザイナーの一人は「デザインを通して社会貢献できることが大きなやりがい」。別の登壇者は「自分の考えが形になり、たくさんの反響をもらえることがうれしい」などとアピールした。

会場では、環境に配慮した展示に取り組む業界の動きも紹介した。（平野朋世）

(c)大分合同新聞社　この記事・写真等は許諾を得て使用しています。